



発行 狛江市公民館

西河原公民館  
〒201-0013 狛江市元和泉2-35-1  
TEL/03-3480-3201  
FAX/03-3480-3203  
E-mail nishikou@city.komae.lg.jp

中央公民館  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
TEL/03-3488-4411  
FAX/03-3480-3341  
E-mail chukou@city.komae.lg.jp

第54号  
2020年  
(令和2年)  
12/15

↑ Web版はこちら

## 西河原映画会が帰ってきました！

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、令和2年1月を最後に西河原映画会は開催しておりませんでした。整理券の配布や座席数の縮小、消毒、検温等の感染症対策を徹底し、11月14日に「ベイマックス」を上映いたしました。

西河原映画会は身近に文化に触れる機会として市民劇場の企画の一つとして開催され、現在では奇数月の第2土曜日、1日2回上映で行われるスタイルになっています。DVDやネット配信など、映画を気軽に手軽に見る機会は増えていますが、大きなスクリーンで見るのはまた格別です。

### 西河原映画会観客数ベスト3（2014年以降）

- 1 「繕い裁つ人」（平成28年9月） 監督：三島有紀子 主演：中谷美紀 2015年1月31日公開
  - 2 「フラガール」（平成29年3月） 監督：李相日 主演：松雪泰子 2006年9月23日公開
  - 3 「あん」（平成29年11月） 監督：河瀬直美 主演：樹木希林 2015年5月30日公開
- 全体としてはテレビでもそれほど放映されない、映画館での扱いも少なかった作品が人気です。

### 市制施行50周年記念映画会

#### 「最高の人生の見つけ方」（主演：吉永小百合×天海祐希）

令和3年（2021年）1月9日（土）

西河原公民館多目的ホール

午前10時・午後2時の2回上映、無料、先着50人、予約不要

令和2年の10月1日に狛江市が市制施行50周年を迎えることを記念して、「最高の人生の見つけ方」を上映する予定です。余命宣告を受けた主人公が、人生において生きる喜びや楽しみを見つけるというハートフルな映画となっています。大きなスクリーンで感動を分かち合うというのはいかがでしょうか。

コロナ禍のため、日程はあくまで予定です。実施するかは「広報こまえ」や市内の掲示板などでお知らせします。

## 「親子天文教室」(10/31)

狛江市の市制施行 50 周年を記念して、公民館では 10 月 31 日(土)に「親子天文教室」を開催いたしました。西河原公民館の多目的ホールで、星や惑星に関する説明や手作り望遠鏡のワークショップを行った後、松林児童遊園に移動し、双眼鏡や天体望遠鏡で木星、土星、火星、月などを観測しました。

今年の 10 月 31 日は、満月のハロウィン(46 年ぶり)、そしてブルームーン(一月に 2 回満月が訪れること)、さらにマイクロムーン(今年最も小さい満月)という 3 つの条件が奇跡的に重なり、市制施行 50 周年を記念するのにふさわしい日となりました。

当日は、親子 29 人と多くの方々にご参加いただき、参加者からも大変ご好評をいただくことができました。今後も公民館事業として、星や惑星に関する講座・教室をできるだけ扱っていければと思います。



### 新しい公民館長が就任しました！

令和 2(2020)年 11 月 1 日付けで公民館長に就任しました浅井信治と申します。

皆さまには日頃より公民館の運営・活動に多大なるご協力をいただきまして、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

公民館は市民の皆さまへ学びの機会を提供し、人と人とを結び、地域の課題を解決する活動を支援する場です。私たちは、これからも皆さまの学びや活動を支えながら、幅広い世代の方々に親しまれる公民館を目指していきたくと考えております。

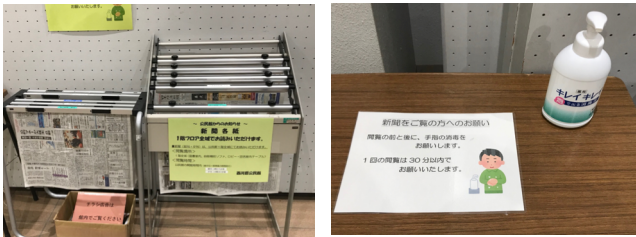
新型コロナウイルス感染症の影響下においても、皆さまが安心して楽しく活動できるよう、職員一丸となって公民館運営に取り組んでまいります。

また、今後は市民センター(中央公民館・中央図書館)の改修にあたり、皆さまの意見を伺いながら検討を進めていきますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 公民館よりお知らせ

西河原公民館図書室のブックポストが移動しました。現在は西河原公民館入口左側（外）にあります。DVD、CDの返却は出来ません。

リサイクル本のコーナーを設置しました。西河原公民館入口、自動ドアに挟まれた部分にリサイクル本のコーナーが常設されました。ご自由にお持ち帰りください。リサイクル本は適宜補充されます。



▼西河原公民館の学習室Ⅱ、Ⅲの机と椅子の入れ替えが終了しました。



令和2年11月1日付けで「『第35回中央公民館のつどい』の縮小実施について」と「令和2年度『第32回いべんと西河原』の中止について」を利用団体代表者にお送りいたしました。

いべんと西河原は中止ですが、西河原公民館では2月から3月にかけて、ギャラリーでの展示を行います。

▼図書室内の閲覧用の机に仕切りを設置しました。



◀ コロナ禍で中止しておりました、西河原公民館の新聞閲覧が再開されています。

フリースペースに設置しておりますが、1階フロア全域で読むことができます。1回の閲覧は30分以内でお願いします。手指消毒の上、他の人との距離を十分取った上でご利用ください。



第35回「中央公民館のつどい」第1回実行委員会が令和2年11月18日に開催され、今年度の「中央公民館のつどい」は新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行うことで実施することになりました。

### ■実施日

令和3年3月13日（土）と14日（日）

### ■実施内容

▽展示（部屋の定員を厳守するため、入室人数に制限あり）

▽つどいコンサート（客席数は40～50席）

※公開活動、喫茶等飲食を伴う催しは行いません。

## 今年度の調整会は行いません

今年度の調整会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたします。

抽選の申し込みにより他の利用団体と重複した場合は、調整会の日に職員による抽選を行った上で、施設予約システムに入力いたします。翌日以降に予約の確認をしてください。

先着順の予約は通常通り21日以降です。

利用月	職員が抽選をする日（翌日以降確認可能）	
	西河原公民館	中央公民館
3月分	12月16日（水）	12月18日（金）
4月分	1月15日（金）	1月20日（水）
5月分	2月15日（月）	2月19日（金）
6月分	3月15日（月）	3月19日（金）





## こまえ市民大学へようこそ

土曜日の午後、中央公民館で開催している「市民大学」で、現在計画している講座は以下の通りですが、コロナ禍のため、日程はあくまで予定です。実施の場合は「広報こまえ」や市内の掲示板などでお知らせします。

12月26日	時事講座Ⅱ <b>揺れる中国 混迷の新時代</b> 毎日新聞社客員編集委員 <b>金子 秀敏さん</b>
1月9日	「新春 寿ぎ松囃子と言祝ぎのお話」 <b>大鼓と笛</b> 大倉流大鼓 重要無形文化財総合指定保持者 文化庁日本遺産大使 <b>大倉 正之助さん</b> 森田流笛 <b>熊本 俊太郎さん</b>
1月23日	<b>杉原千畝の“命のビザ”の謎</b> ソ連共産党政治局の秘密決定 ジャーナリスト <b>石郷岡 建さん</b>

### メガクライシス連続講座

2月6日	<b>地球史</b> 地球史研究と地球観の変化 放送大学准教授 <b>大森 聡一さん</b>
2月20日	<b>海の嘆き</b> —海洋廃プラスチック汚染の現状 防衛大学名誉教授 <b>山口 晴幸さん</b>
3月6日	<b>地球温暖化 異常気象</b> 天気キャスター <b>水越 祐一さん</b>
3月27日	<b>宇宙から見た地球</b> 元国連宇宙平和利用委員会議長 <b>堀川 康さん</b>

## 公運審だより

令和2年度第2～5回

(8/31・10/5・10/19・11/16)

コロナ禍で半年ほど開催できなかった公運審ですが、今期の諮問「狛江市公民館事業の評価のあり方について」に対する答申に向け、急ピッチで審議を進めています。

事業ごとに目的、位置づけ、内容、関連づけできるSDGs(持続可能な開発目標)の項目などとともに、評価を1枚の「公民館事業評価シート」にまとめます。

評価の項目について活発に意見交換がされました。各事業によって目的が異なるため、すべて同じ項目で評価することは難しいのではないかと、一方事業ごとに評価項目を設定すると統一性がなくなり運用しづらいのではないかなどの意見が出ました。

公民館事業をよりよくするための事業評価ですので、ついつい色々な視点でこんなこともあんなことも盛り込みたくありませんが、使いやすいかわかりやすいことも大切です。今のところ、「市民への周知」「環境」「利用者の満足度」「企画の達成度」をすべての事業に共通する項目とし、事業の内容により項目を追加して案を作成しました。

第5回定例会では、この案を用いて実際の事業についてプレ評価を行ってみました。実際にやってみると改善点な

ども実感でき議論が深まりました。これから評価項目、基準などをさらに検討し、よりよい答申となるよう進めてまいります。

### 市民センターの改修について

9月に市民説明会が開かれて「狛江市民センター改修等基本方針」が示され、11月1日の「広報こまえ」に市民センターの改修と新図書館を整備する計画が掲載されました。市民センターの改修については公運審でも議題になり、公運審委員も市民説明会に参加しました。

説明会で市の話や市民意見を聞いた感想は、財政負担が強調されているけれど説明が不十分、施設やサービスのあり方の検証をふまえているか、計画の施設は利用しにくい、現場の意見を反映していない、市民と市役所が対立しているように感じる、という懸念が出されました。

現在の公民館は部屋数が少ない、市民が気軽に立ち寄り、若者が活用できる施設があると良い、明るくゆったりした図書館がほしい、などの要望がずっと出されてきました。財政面に配慮しつつこうした市民の声にどう応えていくのが問われています。

公運審では、公民館長に対応を求める意見書を提出することにしました。「日本一やさしい街・狛江」をめざして市民協働が進むよう願っています。